

令和3年度東浦町在宅医療介護連携部会

委員から提出された意見と回答

貴重なご意見ありがとうございました。いただいた意見内容については一部要約しております。

また、内容が重複するものについては、ひとつにまとめております。ご了承ください。

議題1 令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画について

(1) 令和3年度実績について

No.	内容	回答
1		

(2) 令和4年度事業計画(案)について

No.	内容	回答
1		

議題2 在宅医療介護連携部会の進捗状況について

令和3年度ワーキンググループの取組みについて

(1) ICT・多職種連携ワーキンググループ

No.	内容	回答
1	多職種連携について、今後もコロナの感染拡大を考慮し、WEB開催をするようであれば、講師の顔や表情を受講者が見れるといいと思いました。	今後WEB配信する場合、なるべく顔や表情を映して配信ができるよう、講師等と調整していきます。

(2) 東浦町版口腔観察シート

No.	内 容	回 答
1	特に在宅の高齢者向けに活用できるよう期待しています。	在宅の高齢者に関わるヘルパーやケアマネ等の専門職へシートの周知や活用事例などの紹介を行い、活用できるようICT・多職種連携ワーキンググループで検討していきます。
2	資料2-3(案)東浦町版口腔観察シート A「口臭がある」の「吐く息が匂う」は「臭う」でなくてよいでしょうか。	お見込みのとおりです。「臭う」に修正いたします。
3	東浦町版口腔観察シートも、このような意見があり変更したという方がより理解しやすいのかと感じました。	分かりやすい説明に努めていきます。
4	一般高齢者を対象とするのであれば、項目として不自然なものあり(くちびるが乾いている、舌がひからびている、ろれつが回らない、声が小さい)介護保険利用者が対象であれば、納得できます。	東浦町にお住いの事業対象者及び介護保険利用者を対象に、東浦町に関わる医療・介護専門職が活用いたします。
5	記載、歯科医師への相談は、紙ではなくデータでできるとよいです。おだいちゃんネットで可能なら、それでよいです。	歯科医師への相談は、試行期間においてもメールまたは医療・介護おだいちゃんネットワークの利用を原則としており、来年度においても引き続きデータでのやり取りを原則とします。
6	データを取りつつ、分析していく必要があります。使用にあたり、福祉職の研修は必須です。	より効果的に使用できるよう、分析方法や研修会の開催について、ICT・多職種連携ワーキンググループで検討していきます。
7	別紙となっている、口腔機能トレーニングとはどのようなものでしょうか。	愛知県歯科医師会が発行している、お口のさわやかエクササイズを利用しています。
8	「口腔観察シート」を活用した在宅療養者の口腔チェック、多職種による早期からの介入(気づき)は、歯科医療機関との連携につながる効果的な取組であると思います。	

(3) ACP・住民啓発ワーキンググループ

No.	内 容	回 答
1	これからノートをもっと周知できるとよいです。	今年度は一部のサロンや講演会での配布が中心となりましたが、来年度は、引き続き地区への出前講座や作成したチラシの活用を行います。その他、周知できる方法について、引き続きACP・住民啓発ワーキンググループで検討していきます。
2	ACP・住民啓発について、研修会の日数や時間を増やすことで、住民啓発になるのではと感じました。	なるべく多くの方に周知できるよう、開催方法等について検討していきます。
3	講演会、研修会のアンケート結果（住民、関係者の意見）を部会員に情報提供でまとめて省略したものでも添付するとよかったですと思います。今後の展望、次年度へより分かりやすく繋がられるのではと思いました。	分かりやすい説明に努めていきます。

議題3 電子@連絡帳の運用について

(1) 電子@連絡帳の利用実績について

No.	内 容	回 答
1	おだいちゃんネットワーク同意書ですが、都度、同意書を取ったか取っていないかを確認しないといけないので同意書未取得や同意書取得済み等確認しやすい方法はありませんか。	個人情報を伴いますので、現在は電話もしくはおだいちゃんネットワークでのメッセージ機能での確認といたしておりますが、より確認のしやすい方法にできるよう検討させていただきます。
2	おだいちゃんネットワークを実際に活用している方、していない方の差が大きいと感じます。活用している者としては、改めておだいちゃんネットワークについて周知してもらい、活用してもらえるよう研修会等を開催できるといいかと感じました。	今後も引き続き、より多くの方に利用していただけるよう研修の開催や、マニュアルの作成等、普及に努めます。
3	災害時の安否確認のできるツールとして、おだいちゃんネットワークでの方法を検討していきたいです。	普段のケア以外での活用方法など、今後もICT・多職種連携ワーキングにて検討していきます。

4	最初の登録はNPOの法人単位で登録したのですが、いつの間にか事業所単位に変更されていました。なので、登録事業所として2件となっている数は中途半端な数となります。実際はもっと多し、意味のない2件なので介護保険事業所に吸収した方が良いのではないのでしょうか。	医療・介護おだいちゃんネットワークの実績のNPOの欄について、今後集計方法を検討していきます。
5	おだいちゃんネットワークの利用状況が分かり、一定の活用ができてきているのは、関係者のご尽力があつてのことだと感じました。	

議題4 骨折予防プロジェクトについて

No.	内容	回答
1	本プロジェクトについて、在宅医療介護連携部会としての取組であれば、事業計画ロードマップ（資料1-1、1-2）にも明記されると良いと思います。	本プロジェクトは、在宅医療介護連携事業から分析結果で出てきた課題ですが、実際の取組み内容としては、介護予防や健康経営など多くの分野にまたがる事業のため、ロードマップには掲載しておりません。
2	安全に美味しく食べることの取組みとしても、歯科、口腔、摂食、嚥下、栄養面として連携できると思われれます。	食を通しての骨折予防として、美味しく安全に食べられる仕組みづくりを検討していきます。骨折予防プロジェクトは、地域の皆さんと共に取り組んでいきたいため、今後も良いアイデアがあれば随時教えていただきたいです。
3	イベント、講演会を計画していたが、コロナウイルス感染拡大のため中止と記載すると、実績になってよいのではないのでしょうか。記載していないと何もやっていないように思えてしまいます。	来年度の事業として地域包括ケア推進会議の資料に追加させていただきます。
4	骨折については、二次予防も大切です。一次予防については、筋力にもアプローチしていく必要があります。 国立長寿医療研究センターが作成したパンフレット、DVDを活用して欲しいです。	是非、活用に向けて検討させていただきます。

その他

No.	内 容	回 答
1	東浦町は、保健事業と介護予防事業の一体的実施は手上げしないのでしょうか。大府市は実施しており、東浦町も実施すべきです。	企画・調整・分析を行う医療専門職の専任の配置が必要となりますが、保健師の人材が不足しており、令和4年度の実施が見込めておりません。保健事業と介護予防を一体的に実施する仕組みはできているため、国基準の人材が配置できるよう検討して参ります。
2	コロナ禍で会議や集合研修が開催しにくいなか、いろいろと工夫して施策の展開をしていただき、ありがとうございました。	
3	事業内容に関しては、特にコロナ禍のなかで住民のためによく進められてきたと思っています。	